

第1回懇談会

本庄総合公園基本計画見直し

1. 懇談会の位置づけと内容

この懇談会は、今年度を実施する本庄総合公園基本計画の見直しに当たり、広く関係者から意見を聴取するために開催するもので、本日を含め2回の開催を予定しています。

本日は、次の内容について意見交換をお願いいたします。

(1) 新規の施設に関するご意見

- ・ 屋外運動施設
- ・ 遊戯施設

(2) 既存の施設に関するご意見

- ・ トイレ、園路、駐車場など



2. ご意見いただきたい視点

各分野からの幅広いご意見

子育て

定住促進

観光

教育

防災

- ・人口減少社会
- ・持続可能な施設運営
- ・公園の果たすべき役割
- ・次世代の負担

など

バリア
フリー

スポーツ

その他

3. 本庄総合公園の沿革

公園の沿革

昭和58年に当初の基本計画を策定し、昭和62年の都市計画決定を経て、平成6年に公園を開設しました。

平成9年に基本計画を変更し、シルクドームの建設と公園の区域拡張が盛り込まれました。

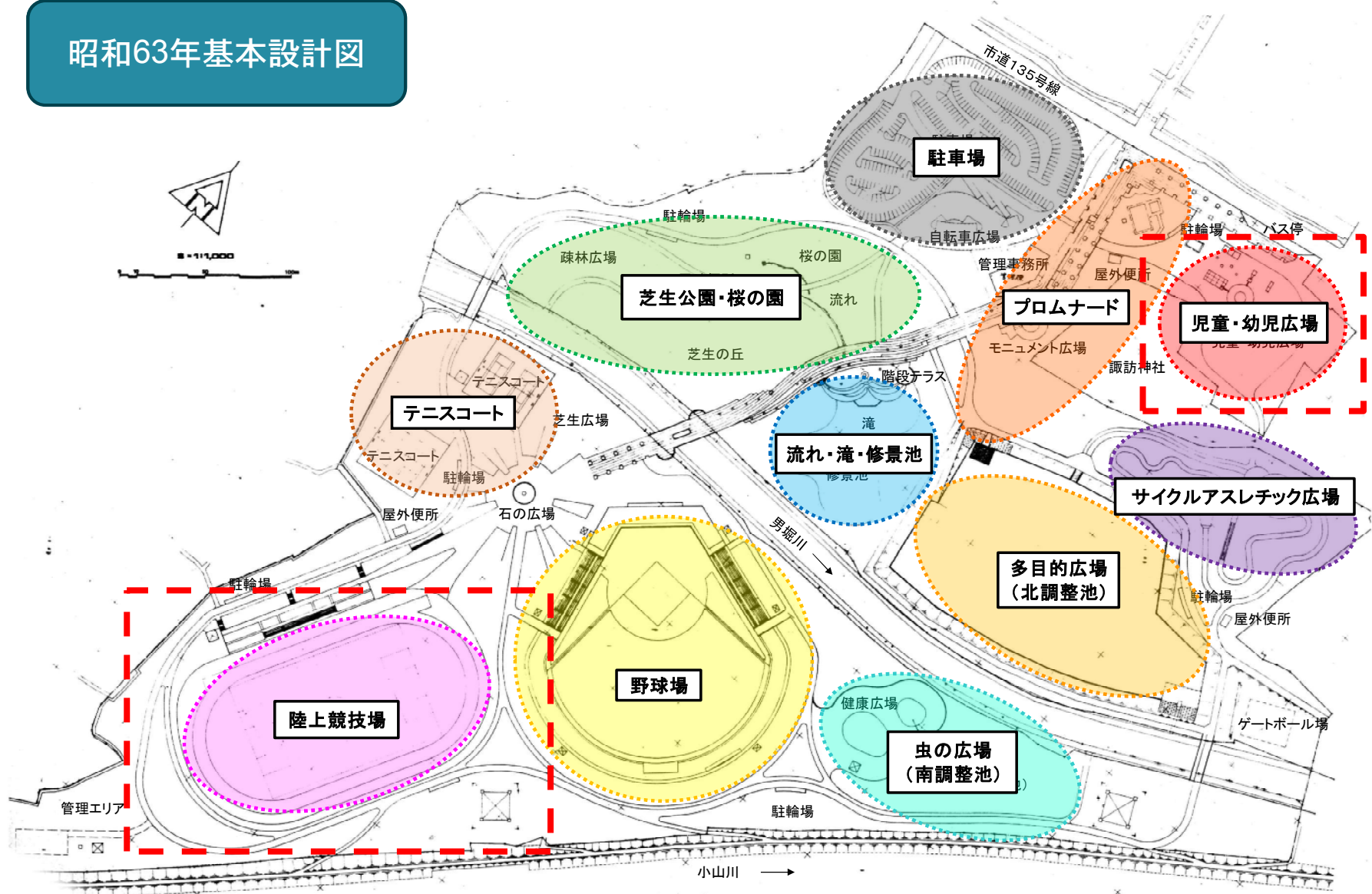
【主な施設】

市民球場、シルクドーム、芝生広場、わんぱーく 等



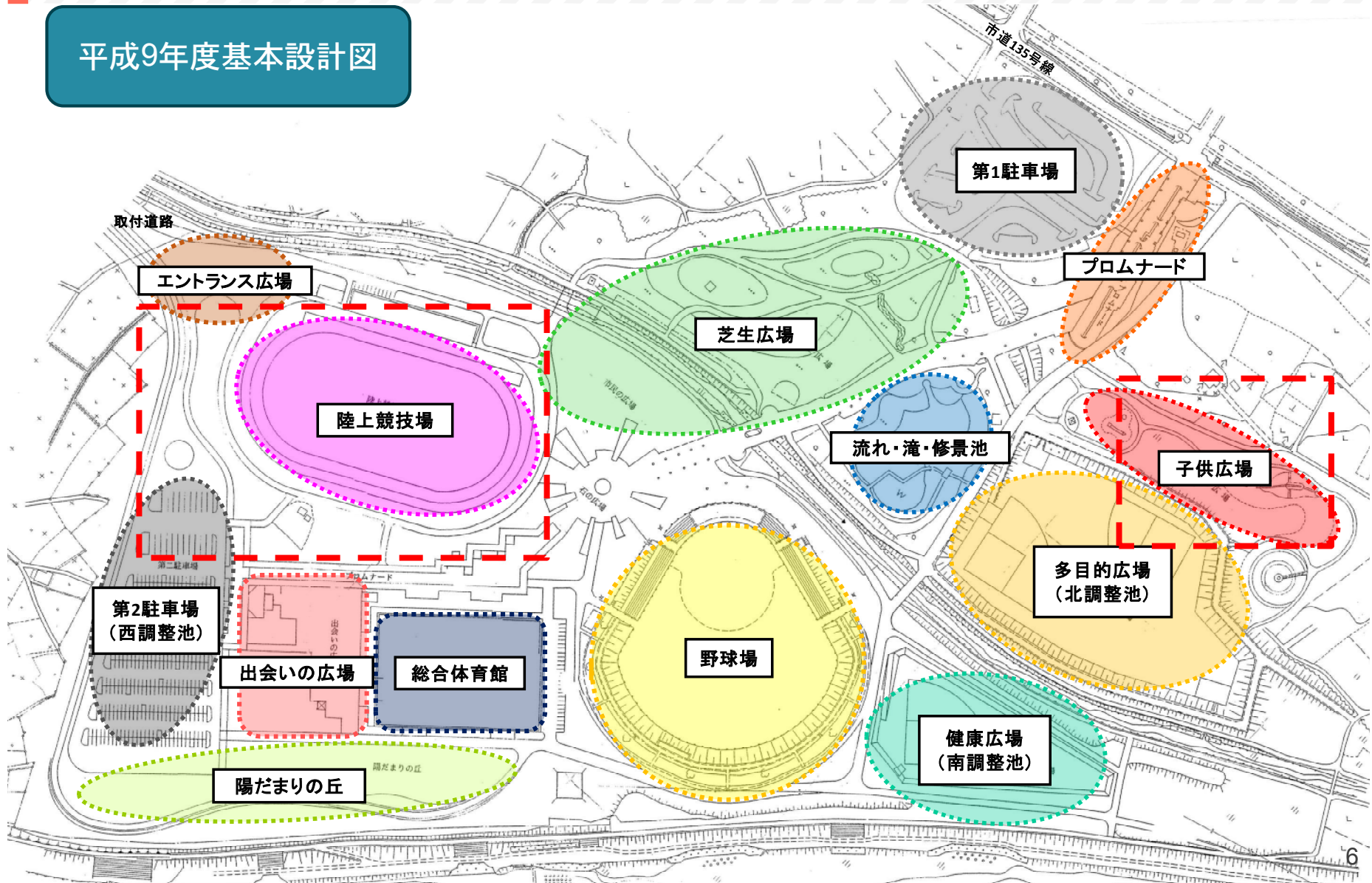
計画変更の流れ

昭和63年基本設計図



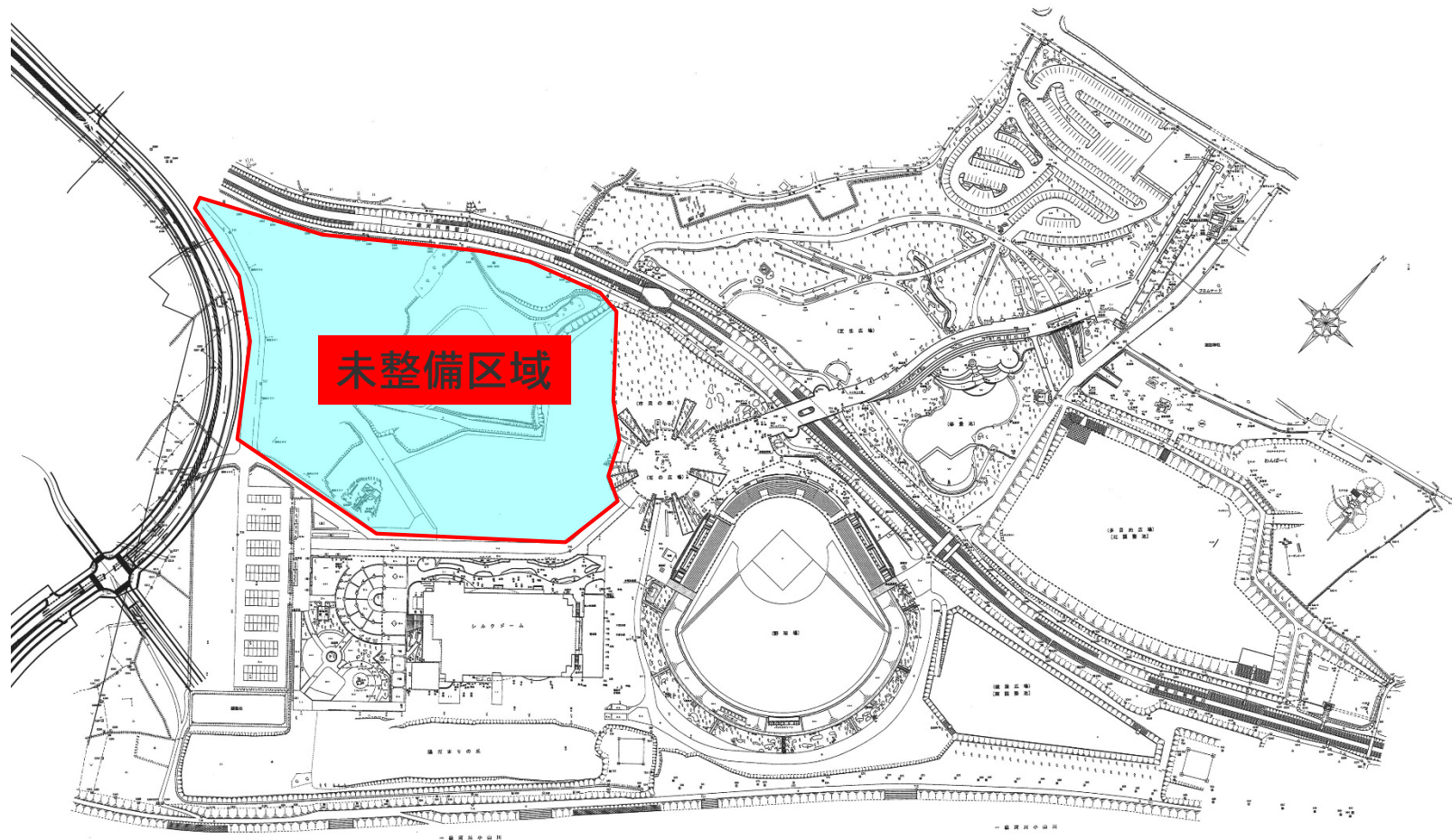
計画変更の流れ

平成9年度基本設計図



4. 未整備区域と本庄深谷線

シルクドーム北西の砂利部分は暫定駐車場として使用していますが、現計画では陸上競技場予定地に位置づけられています。また、公園の西側に計画されている本庄深谷線からの進入路変更に伴って、施設配置や動線の見直しが必要です。



5. 見直しの主な理由

1.

都市計画道路の決定(変更)

-本庄深谷線開通による新たな可能性の想定-

2.

陸上競技場の計画

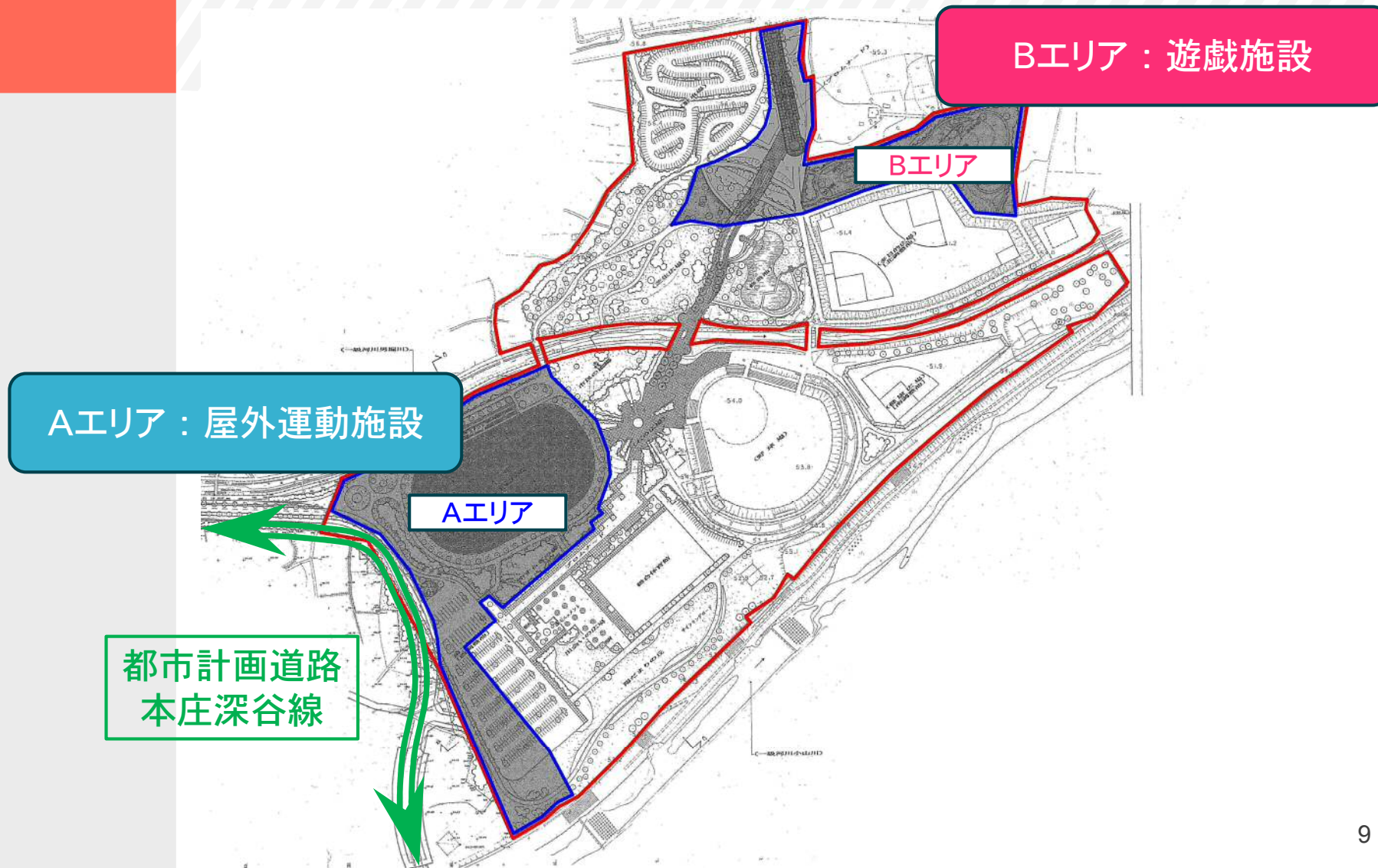
-市民ニーズと社会情勢に合致した施設整備-

3.

本庄総合公園の機能の見直し

-市を代表する公園として魅力の創出-

6. 見直しの対象エリア



7. 市が想定する見直しのポイント

今回の計画見直しに当たり、市が考えるポイントは次のとおりです。

1. 持続可能な施設の提供

新たに設置する運動施設は、人口減少と少子高齢化が進む社会情勢にあって、高い稼働率と適正な受益者負担を確保でき、コスト面でも住民理解が得られる施設とすること。

2. 子育て世帯や運動施設利用者の呼び込み

今回の見直しエリアは、本庄深谷線という幹線道路沿いに位置し多くの利用者にPRできる好立地であることから、本庄市に人を呼び込み、また定住促進のきっかけとなるような公園とすること。

3. 駐車場の適正化や防災機能の確保

一般的な公園としての機能だけではなく、大会やイベントの開催会場として、また災害時の防災拠点としての役割を果たせるよう、必要な機能が整った公園とすること。

8. 本庄総合公園基本計画見直しアンケート

懇談会に先立ち、下記の期間で見直し対象のエリアに関する利用者アンケートを実施しました。

利用者向けアンケート

期間：平成28年9月9日～10月14日 回収数：360枚

9. アンケート内容

アンケート表面

本庄総合公園の活用策について
 あなたの考えを教えてください！
 ～ 本庄総合公園活用策アンケート ～



本庄総合公園をもっと利用していただくために、ご意見を募集しています。

回答者は、市内・市外の方を問いません。どなたでもご回答ください。

このアンケートは、2016年9月25日まで実施しています。

あなたご自身のことについて、教えてください

Q1 あなたの性別は（1つに○印）

1. 男性 2. 女性

Q2 あなたの年齢は（1つに○印）

1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代
 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上

Q3 あなたのお住まいは（1つに○印）

1. 本庄市内 2. 本庄市外（具体的に：_____市・町）

本庄総合公園の利用について、教えてください

Q4 本庄総合公園をどの程度利用しますか（1つに○印）

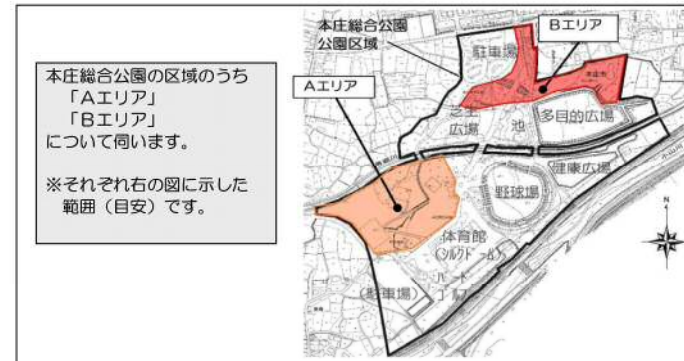
1. ほぼ毎日 2. 週に1～3回 3. 月に1～3回
 4. 年に数回 5. 2～3年に1回程度 6. 利用したことがない

Q5 本庄総合公園でどんなことをしましたか（いくつでも○印）

1. 散歩 2. 犬の散歩（ドッグラン含む） 3. 休憩
 4. 子どもを遊ばせる 5. バーベキュー 6. スポーツ（観戦・付き添い含む）
 7. 花や緑、自然を楽しむ
 8. その他（_____）

→裏面に続きます

アンケート裏面



本庄総合公園の区域のうち「Aエリア」「Bエリア」について伺います。
 ※それぞれ右の図に示した範囲（目安）です。

「Aエリア」について、お聞かせください

Q6 Aエリア（上の図参照）は、どんな場所になれば良いと思いますか（1つまで○印）

- 人工芝や天然芝で覆われて、自由に使える多目的広場
- サッカーができる場所
- 野球やソフトボールができて、現在の市民球場のサブグラウンド的に使える場所
- 陸上競技ができる場所
- フットサル・バスケットボール、キャッチボール、テニス、スケートボードなど様々なスポーツを同時に小規模で楽しめる複合スポーツの場所
- ランニングやウォーキング、健康づくりに使える場所
- その他（_____）

「Bエリア」について、お聞かせください

Q7 Bエリア（上の図参照）は、どんな場所になれば良いと思いますか（1つまで○印）

- ドーム型トランポリンの上を飛び跳ねるなど、新しい遊びが楽しめる場所
- 水遊び場、噴水の水にさわって遊べる場所
- 幼児・未就園児が、安全に楽しく遊べる場所
- 小学生などが、いろいろな遊具（複合遊具など）で遊べる場所
- 雨や強い日差しを避けて、天候に関係なく遊べる場所
- その他（_____）

その他

Q8 本庄総合公園の整備・活用のアイデア等、ご自由にお書きください。

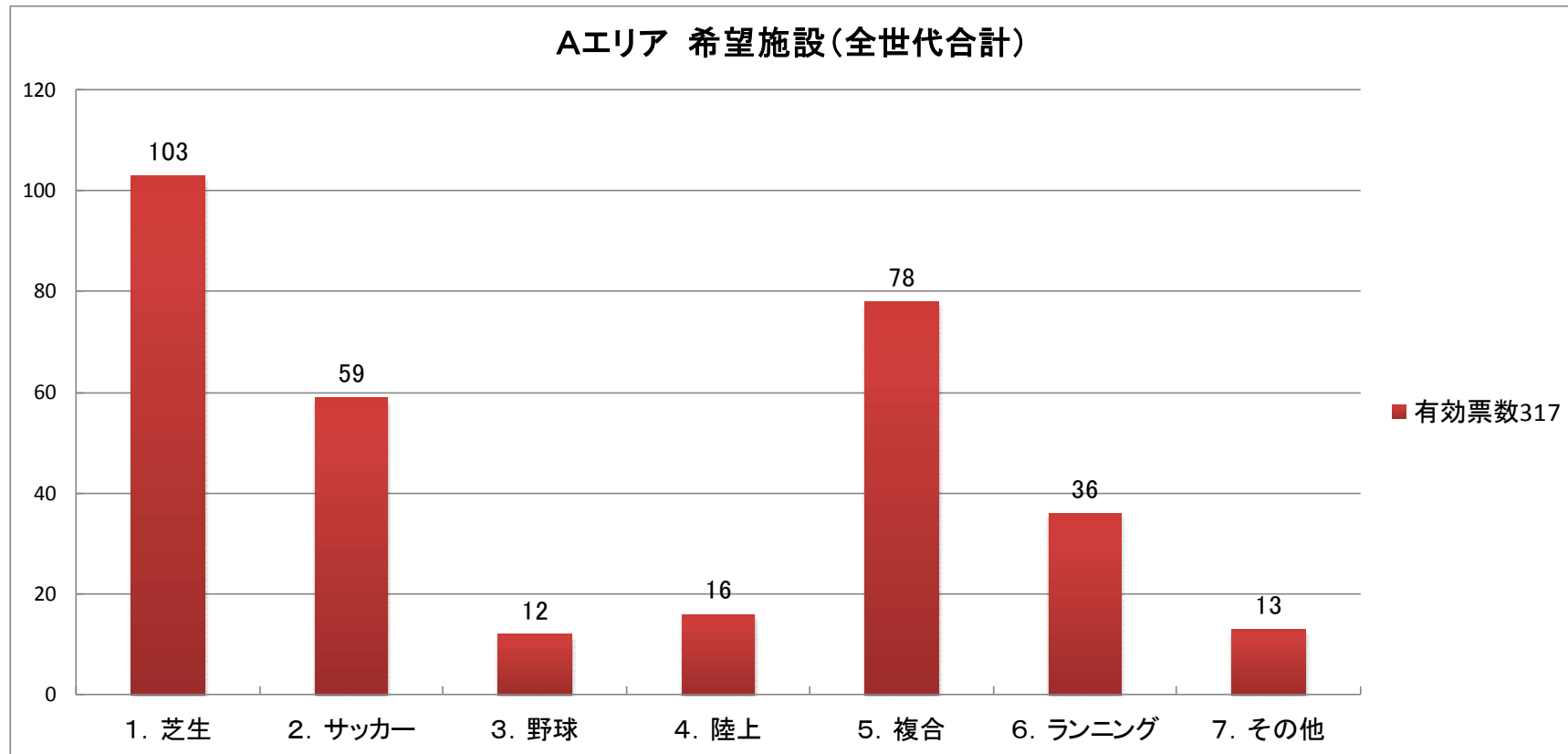
回答後は、この用紙を隣に備え付けある回収箱に投かんしてください。ご協力ありがとうございました

○本庄総合公園の活用策に関するお問い合わせ
本庄市都市整備部都市計画課 担当：小暮、根岸
 TEL：0495-25-1137（直通） FAX：0495-24-0242

アンケート結果

Q6 Aエリアは、どんな場所になれば良いと思いますか。(1つまで○印)

確定累計値								有効	無効	総数
Aエリア	1. 芝生	2. サッカー	3. 野球	4. 陸上	5. 複合	6. ランニング	7. その他			
累計	103	59	12	16	78	36	13	317	43	360



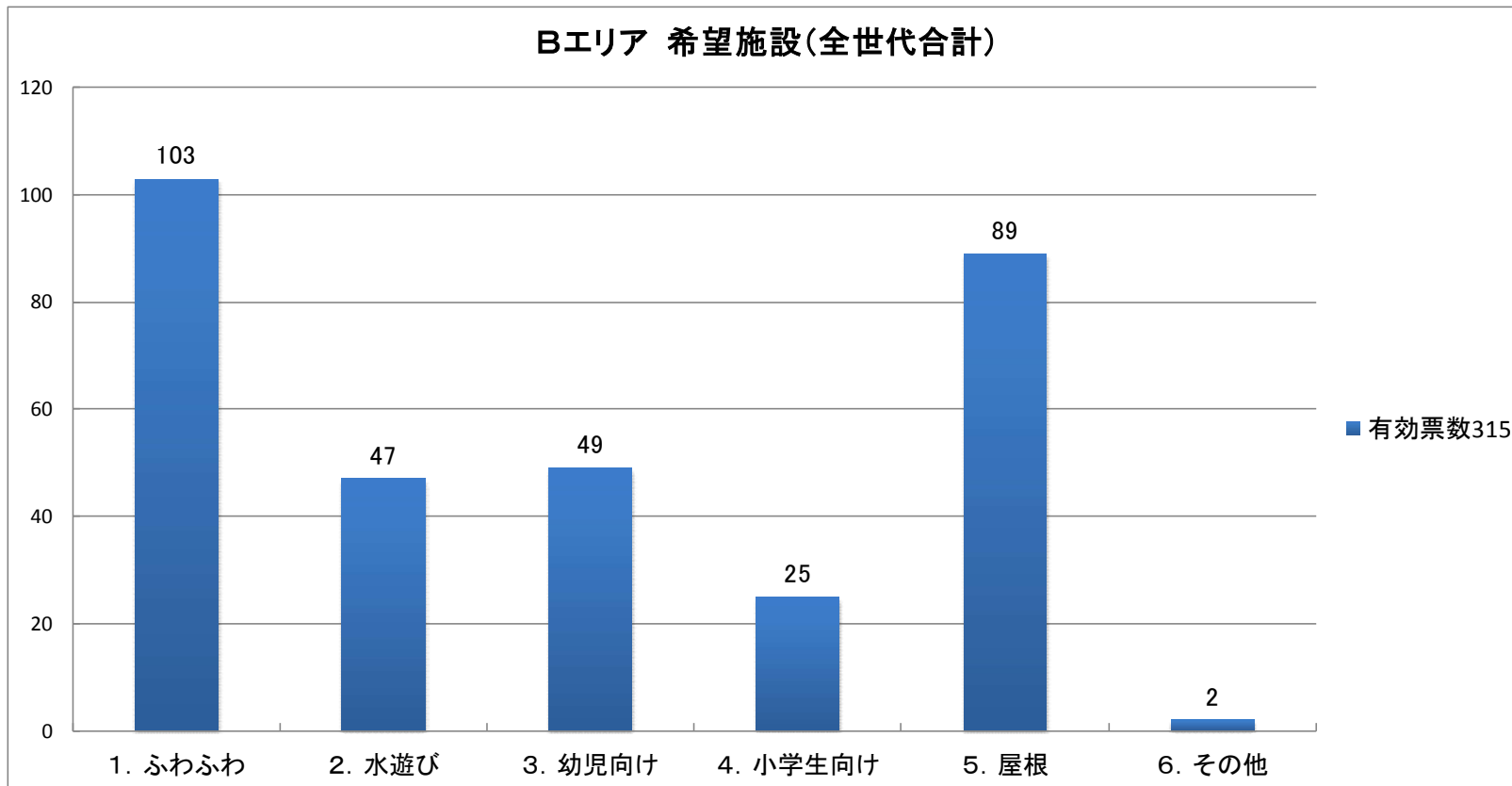
Aエリアについては、「1.芝生多目的広場」が最も多く、続いて「5.複合スポーツエリア」、「2.サッカー場」を求める声が多かった。

アンケート結果

Q7 Bエリアは、どんな場所になれば良いと思いますか。(1つまで○印)

Bエリア	1. ふわふわ	2. 水遊び	3. 幼児向け	4. 小学生向け	5. 屋根	6. その他	有効
累計	103	47	49	25	89	2	315

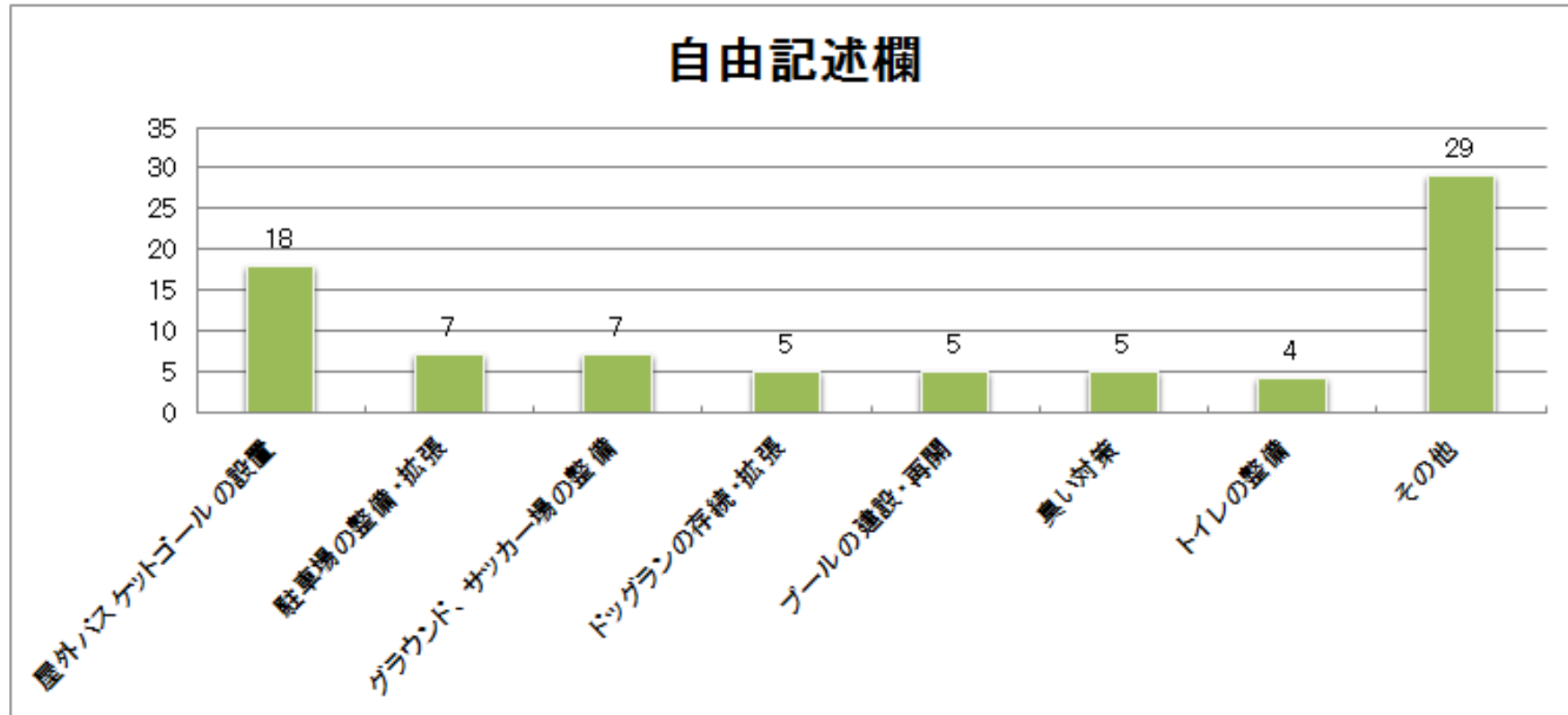
無効 総数
45 360



Bエリアについては、「1.ふわふわドーム」と「5.屋根付きの全天候型施設」を求める声が多かった。

アンケート結果

Q8 本庄総合公園の整備・活用のアイデア等、ご自由にお書きください。



屋外バスケットゴールを望む声が圧倒的に多く、次いで駐車場に関する事、グラウンドやサッカー場に関する意見が多かった。

10. 運動施設(Aエリア)に関する検討 その1

(1)運動施設の経緯

-これまで本庄市ではどのような施設を整備してきたか-

(2)運動施設の配置

-市内の運動施設の配置状況-

(3)運動施設整備への要望

-運動施設に関する主な整備要望-

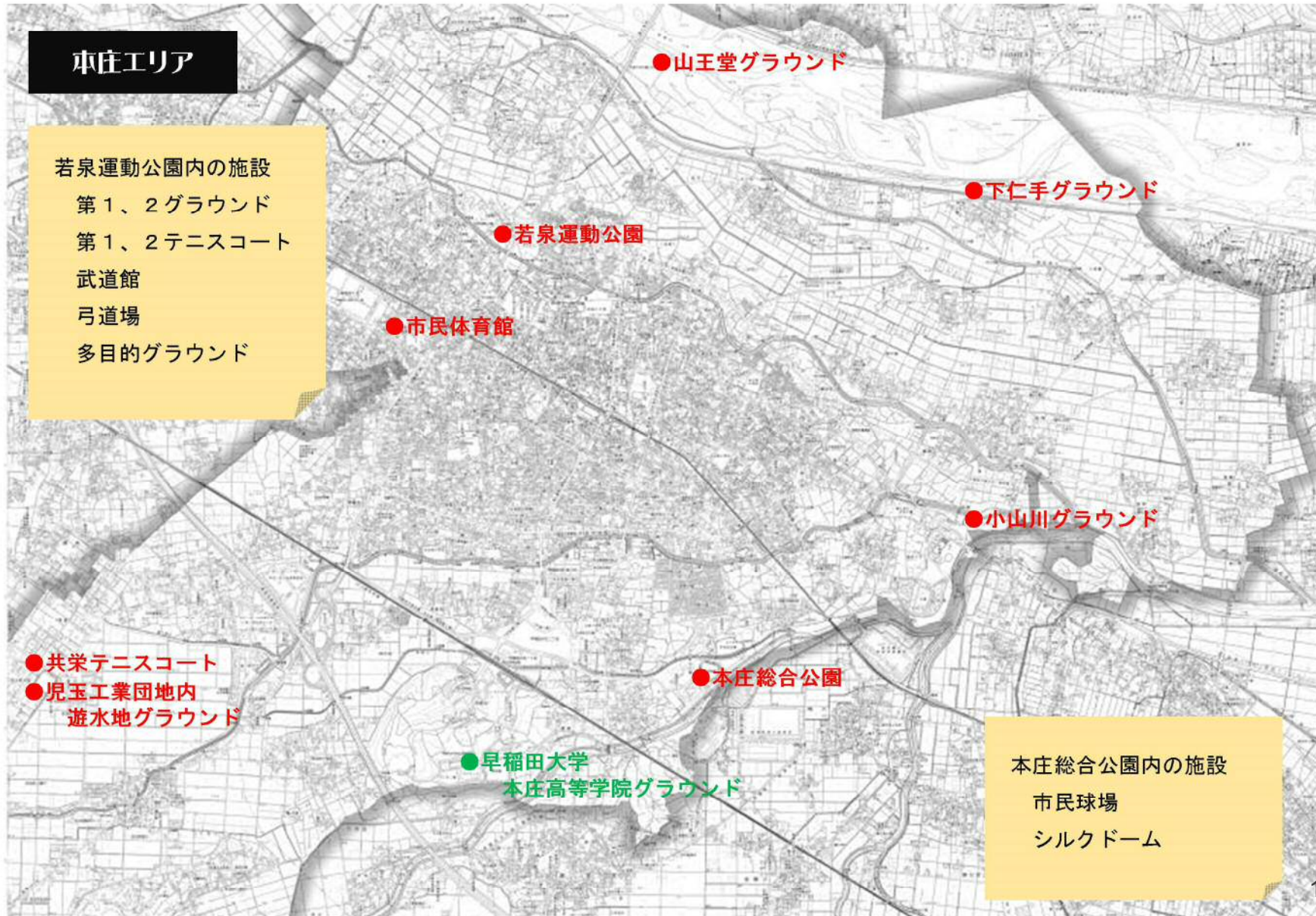
10—(1)運動施設の経緯

(1) 設置年数別

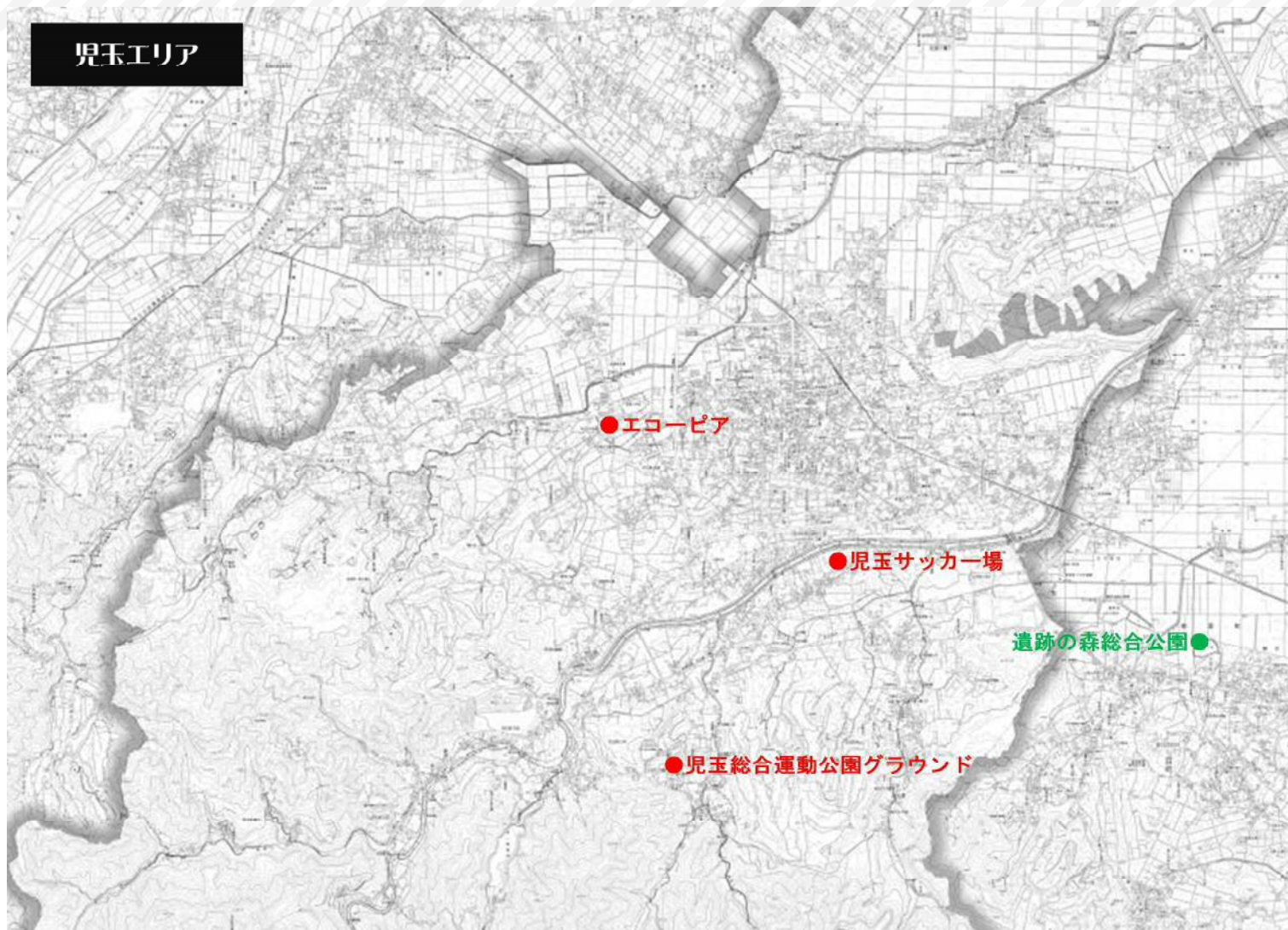
年度	施設	年度	施設
S40	山王堂グラウンド	H3	
41	▲50年経過	4	
42		5	市民球場
43		6	
44		7	
45		8	▲20年経過
46		9	
47	小山川グラウンド	10	
48		11	
49		12	
50		13	シルクドーム
51	若泉第1グラウンド ▲40年経過	14	
52		15	エコーピア
53	若泉第2グラウンド、市民体育館	16	
54	若泉第1テニスコート	17	児玉総合運動公園グラウンド
55	弓道場	18	本庄市・児玉町合併 ▲10年経過
56	下仁手グラウンド	19	
57		20	
58	若泉第2テニスコート	21	
59	北泉テニスコート、共栄テニスコート	22	
60	武道館	23	若泉多目的グラウンド
61	▲30年経過	24	
62		25	
63		26	若泉第1テニスコート改修（人工芝化）
H元		27	
2		28	

児玉サッカー場及び児玉工業団地遊水地グラウンドは設置年度が不明

10-(2)運動施設の配置(本庄エリア)



10-(2)運動施設の配置(児玉エリア)



赤：市営スポーツ施設

緑：民間及び他自治体のスポーツ施設のうち、市が担うべき機能を補完しているもの

10－(3)運動施設整備への要望

運動施設に関する主な整備要望

- 本庄総合公園内に当初計画のある陸上競技場の建設
(シルクドーム建設で計画が頓挫しているため)
- 社会人用の公式サッカーグラウンド(芝生)の整備

11. 運動施設(Aエリア)に関する検討 その2

(1)施設数と競技人口

-施設が足りていない競技とは-

(2)他自治体の設置状況

-自治体が設置している施設の比較-

11-(1)施設数と競技人口

市内の運動施設数と競技人口(人口が多い順)の状況は表1のとおりです。

この中には、調整池との兼用施設や排水機能が整っていない施設（小山川グラウンド、児玉工業団地調整池内グラウンド、本庄総合公園多目的グラウンド）が含まれており、常時利用できる施設としては表2のとおりです。

本市の特徴として、陸上は施設なし、サッカーも常時利用可能な施設がない状況です。

表1

市内で利用されている運動施設

競技	施設数	競技人口
野球	4	1872
サッカー	2	890
テニス	13	669
少年サッカー	5	338
少年野球	4	83
陸上	0	46

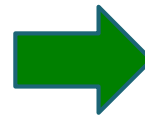
多
↓
少

表2

常時利用できる運動施設

競技	施設数	競技人口
野球	4	1872
サッカー	0	890
テニス	13	669
少年サッカー	1	338
少年野球	2	83
陸上	0	46

多
↓
少



*競技人口は平成28年本庄市社会体育の概要による 22

11-(2)同規模・近隣自治体の設置状況

市名 人口(H27)	陸上競技場	野球場(ソフト)	サッカー場	グラウンド
埼玉県全体	27	435	98	237
本庄市 約7.8万人	×	○	△	○
行田市 約8.2万人	×	○	×	○
東松山市 約9.1万人	○	○	○	○
坂戸市 約9.1万人	×	○	○	○
深谷市 約14.3万人	○	○	△	○
熊谷市 約19.7万人	○	○	○	○

12. その他、Aエリアに関する課題

(1)防災機能の確保

-災害時(特に大雨時)の雨水調整の必要性-

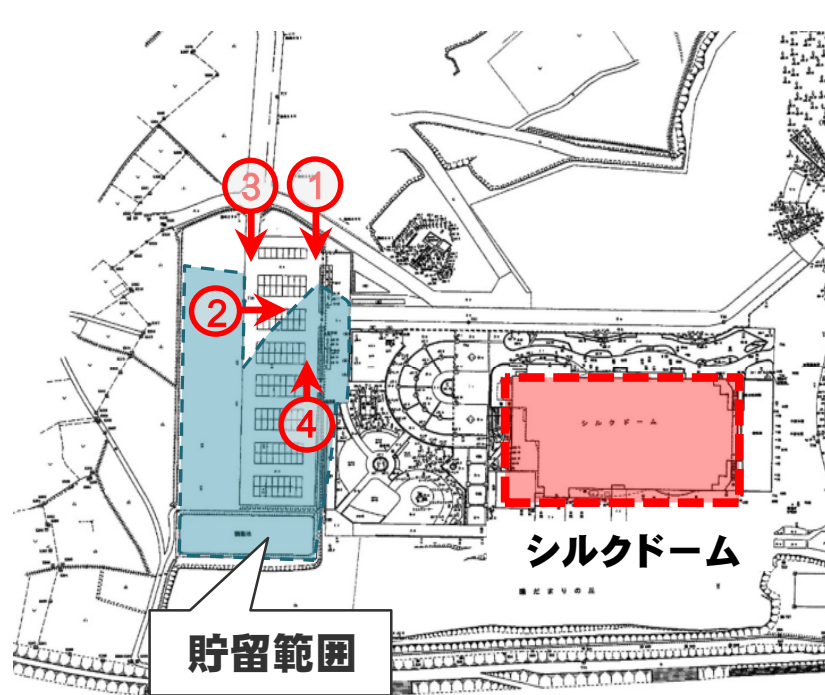
(2)駐車スペースの確保

-暫定駐車場見直しに伴う台数不足解消-

12-(1)防災機能の確保

シルクドーム前の第2駐車場は、大雨時には駐車スペースを利用して1次的に雨水を貯める構造となっています。

■平成28年8月22日の大雨時の貯留状況



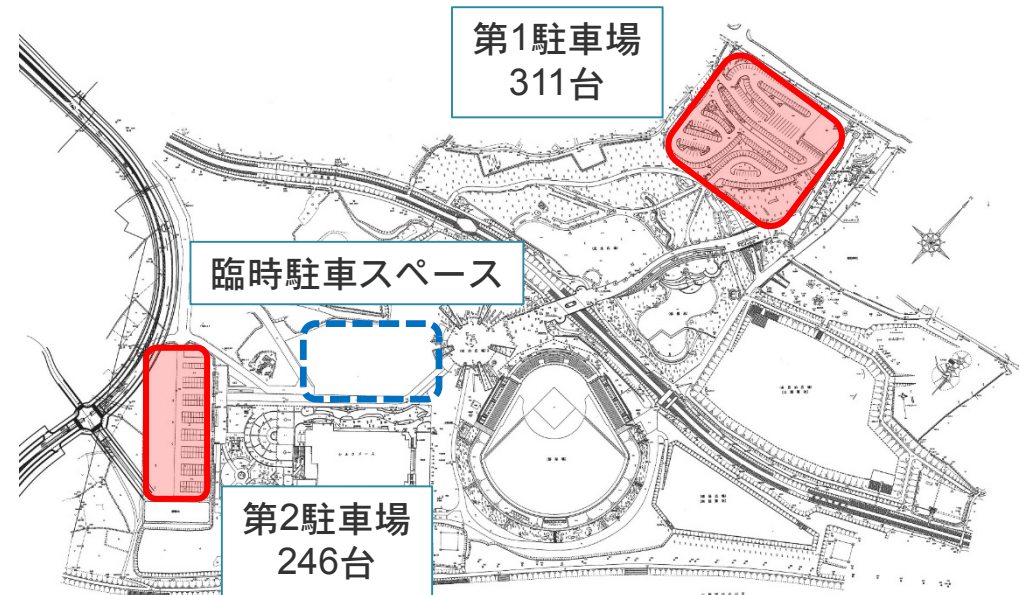
※シルクドームが避難所として指定されているため、別の場所に貯留施設を整備することが求められています。

12-(2) 駐車スペースの確保

駐車場の整備状況

■ 第1駐車場	・ ・ ・	311台
■ 第2駐車場	・ ・ ・	246台
計		557台

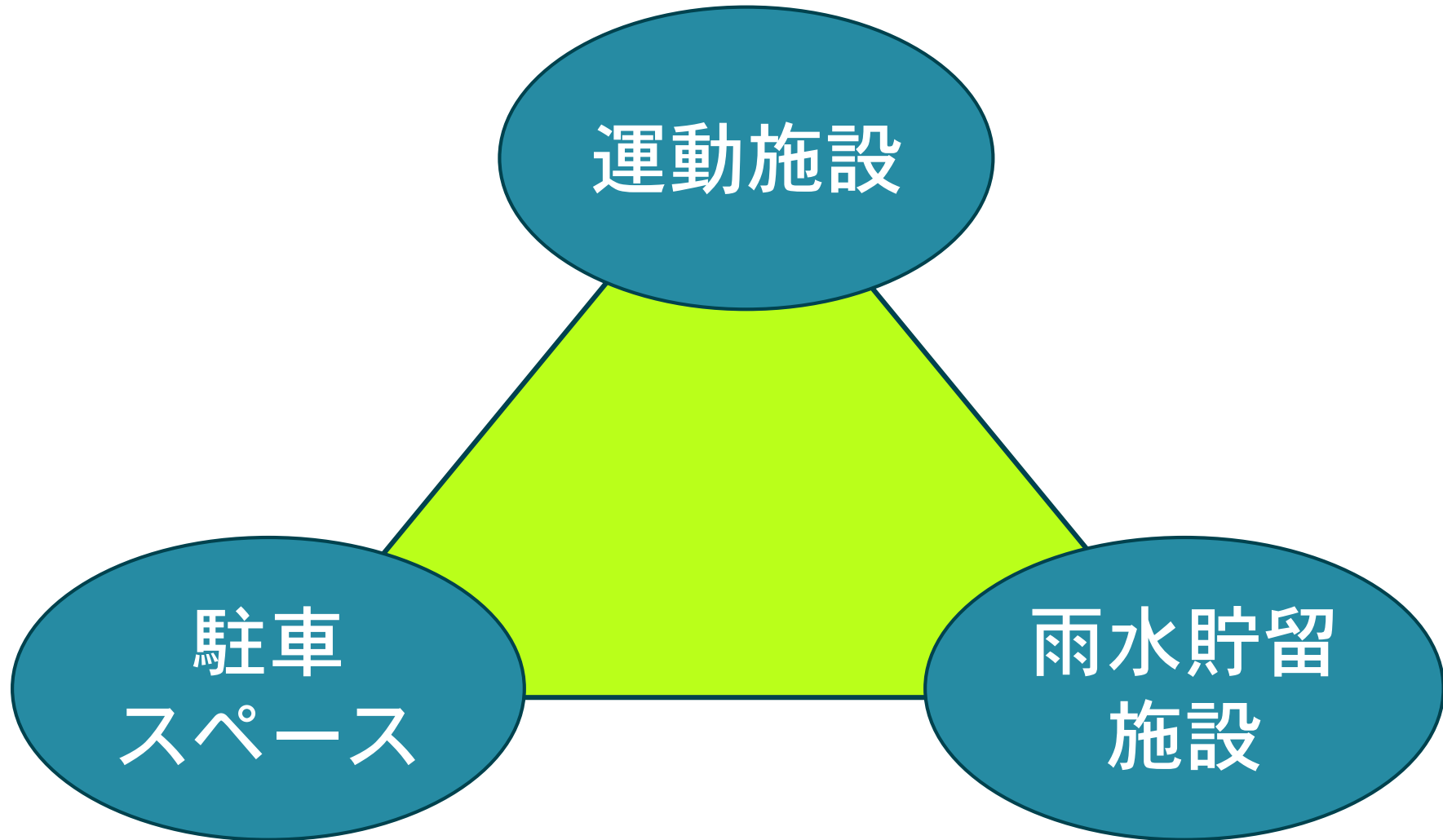
公園面積に対する必要な
駐車台数は十分満足している。



しかし、イベントや大会開催時には、多くの方が来園されるため、未整備地を臨時駐車場として使用している。

※スポーツエリアを整備することで、臨時駐車スペースが無くなるため、代替駐車場が必要です。

13. Aエリアの施設のポイント



14. 遊戯施設(Bエリア)に関する検討

(1)遊戯エリアの現状・課題

-本庄総合公園わんぱーくについて-

(2)子育て世帯の声とニーズ

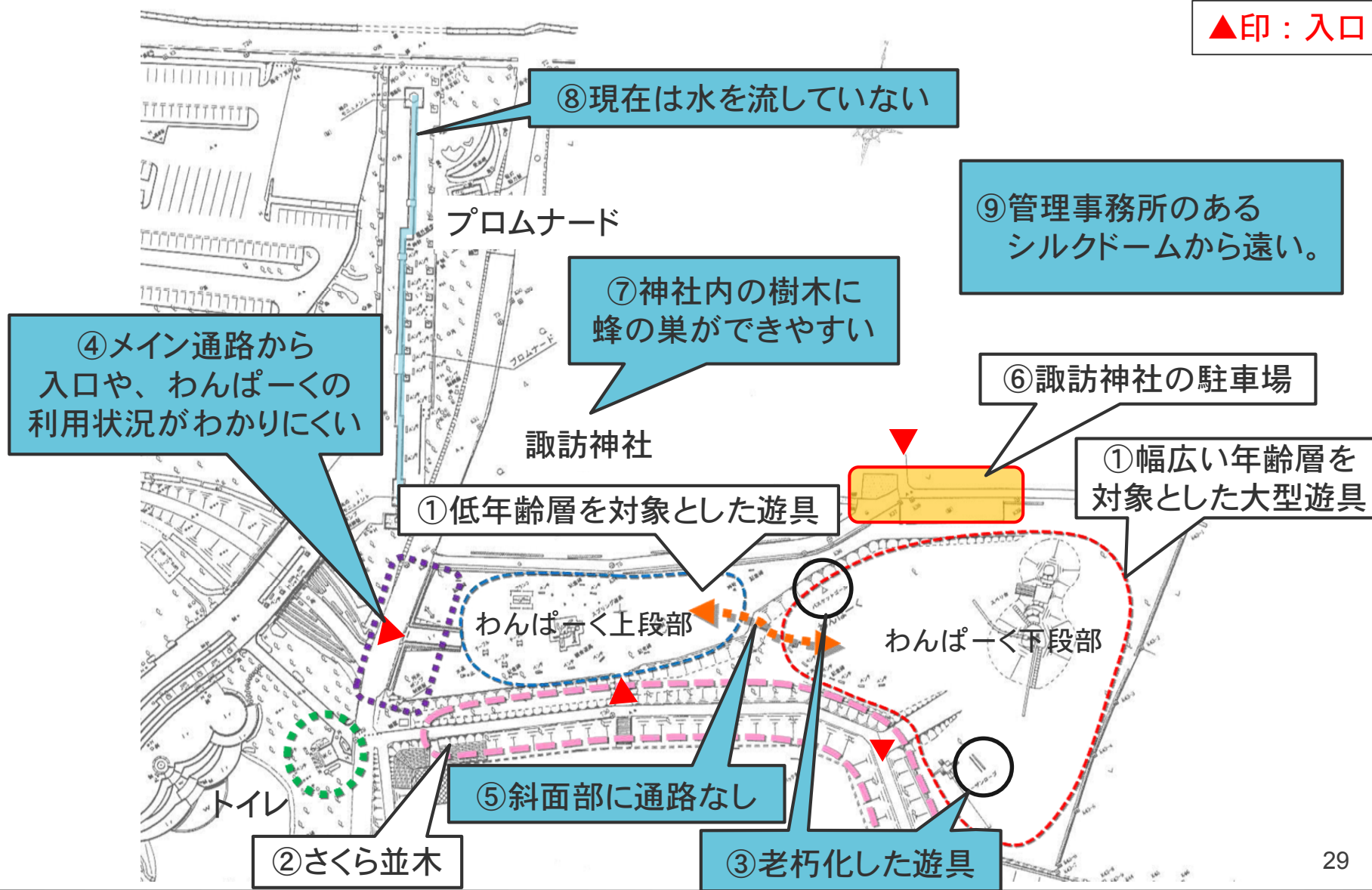
-公園を利用する子育て世帯が感じていること-

(3)近隣で人気の公園や遊戯施設

-子どもたちや子育て世帯が集まる公園や遊戯施設-

遊び場エリアの状況

▲印：入口



遊び場エリアの状況

わんぱーく上段部 (サクラ開花時期休日)



わんぱーく下段部 (サクラ開花時期休日)



遊戯施設、遊び場に関する要望



本庄市の公園に対する
子育て世帯からの主な意見(直近3年間で市に寄せられた声)

ありきたりな公園ではなく、毎日の
子育てで利用できる公園がほしい。

市内の公園に子どもの興味を引くような
遊具がない。ブランコとすべり台では
すぐに飽きてしまう。

子どもの居場所が少なく、「公園に
行っても何も無いからつまらない」
と言われてしまう。

夏は暑くて子どもが外で遊ぶことが
難しい。子どもが走り回れるような
屋外施設を作してほしい。

子どもに関する施設や公園が中途半端で、
子育て世帯にとって魅力がない市。

遊戯施設、遊び場に関する要望



本庄市の公園に対する
子育て世帯からの主な意見(直近3年間で市に寄せられた声)

若者の田舎離れや少子高齢化対策として、
児玉の自然を活用したアンデルセン公園
(千葉)のような公園を作してほしい。

アスパアに子ども遊び場ができたが、
日曜・祝日も使える屋内の子どもの
遊び場を作してほしい。

本庄総合公園は唯一大型遊具がある公園だが、子どもがすぐ
に行ける位置にトイレがなく、子育て応援とはかけ離れている。
おむつ交換やトイレトレーニングなど、子どもがいる親世帯に
とってトイレはとても重要な施設。

休日になって子どもと遊びに行こうと思っても、
市内では遊ぶ場所が見つからず、結局は市外
(伊勢崎や前橋など)に通っている。

市外から来た人間だが、遊具やベンチがこんなにひどいところは
初めて。正直ここでは子育てできないと感じてしまう・・・。

遊戯施設、遊び場に関する要望

子育て世帯の公園利用に関する現状まとめ

- ・ありきたりな公園や遊具ばかりで、毎日の子育てに利用できない。
- ・子どもに「公園に行っても何もない」と言われてしまう。
- ・暑い時期も子どもが遊べるような施設(屋内の遊び場など)がない。
- ・トイレの設置状況など、子育て応援からかけ離れている。

結果として…

市内では休日に子どもを遊ばせる場所がなく、市外の施設に通っている。

(このままでは、子育て世帯が本市から離れていってしまう可能性も…)

そこで…

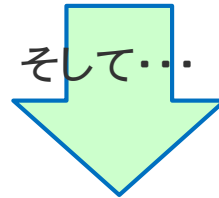
遊戯施設、遊び場に関する要望

本庄市が「子育てがしやすい市・したくなる市」となるためには、優先ポイントを
『子育て世帯が求めるもの』に絞る必要がある。

※子育て世代が求めるもの=今の本庄市内の公園に不足しているもの。



そして…



市内外の子育て世帯を呼び込むような『目玉となる施設』を設けることに着手する。

将来的な本庄総合公園の役割として
「子育て世帯が本庄市に来たい・住みたいと思えるきっかけ」になることを目指す。

具体的な目玉施設のポイントとしては…



- ①本市周辺で実際に子育て世帯に人気のある公園
(例 高崎・観音山ファミリーパーク、伊勢崎・市民の森公園、深谷・仙元山公園…)
- ②子育て世帯にとっての使いやすさの追求
(例 休日に使える、暑い時期や雨天時も使える、親も休憩できる、アクセスがしやすい…)

周辺自治体の人気がある公園

公園名称			特殊遊び場					特殊遊び場				親水 水遊び場		
			児童用 大型遊具	長いすべり台		ターザン ロープ	幼児用 遊具	健康 遊具	アスレ チック	ふわふわ ドーム	芝 すべり		おもしろ 自転車	
				ローラー	グリッサンド									
1	本庄市	本庄総合公園	○	○	○	×	○	○						×
2	深谷市	仙元山公園		○						○	○	○		
3	伊勢崎市	いせさき市民のもり公園	○				○			○				○
4	伊勢崎市	華蔵寺公園	○	○	○		○							
5	熊谷市	妻沼運動公園	○	○	○	○	○	○		○				
6	滑川町	国営武蔵丘陵森林公園	○	○	○	○	○		○	○				○
7	高崎市	観音山ファミリーパーク		○			○	○		○				○
8	太田市	ぐんまこどもの国	○	○		○	○		○	○		○		○

人気のある遊戯施設

跳ねる系遊具(ふわふわドーム)



幼児を対象とした遊具(三歳未満児向け)



跳ねる系遊具(ジャンピングボム)



幼児を対象とした遊具(三歳未満児向け)



人気のある遊戯施設

ターザンロープ



ザイルクライミング



木製アスレチック



長くて良く滑るすべり台



人気のある遊戯施設(アンケートで要望の強いもの)



屋根のある遊び場(ふわふわドーム)



屋根のある遊び場(幼児を対象とした遊具)

噴水・水遊び施設

噴水施設



ポップアップ噴水



いっぱいになるとバケツが回転する



ミスト噴水



湧き出し噴水



ハンドルを回して汲み上げるポンプ

15. Bエリアの施設のポイント

